



ホームページアドレス <http://www1.com.ne.jp/~mizumaki>

発行・カトリック水巻教会

編集・広報委員会

遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3

〒807-0025

TEL 093(201)0680 FAX(201)7354

第334号

## 「自分に対して、より真実になること」

マヘル神父

からしだね1月号～3月号に渡って観想祈禱について一緒に考えました。今は四旬節の終わりであり、聖週間と復活祭の直前です。聖木曜日・聖金曜日・聖土曜日の典礼に是非参加しましょう。イエズスの御受難と復活を観想しながら、今年の復活祭のお恵みを頂きましょう。

「自分に対して、より真実になること」(自己実現)の事について考えたいと思います。

祈っている人が、聖霊の働きのため、一層人間らしくなる事は、この祈りの素晴らしい副作用とも言えましょう。

神のみ前にあって、神の臨在のもとに自分を偽ってはいけない事を学びます。社交的なしきたりと言う仮面の裏に秘められている自分自身の本当の姿を、そのポーズとうぬぼれ、大きいなり小さいなりの欺瞞を見破ることが出来ます。考えや言葉や行いのわざとらしさや間違った態度や、本物でない「我」を後に残して、益々誠実な本物の自分自身となります。臨在される神のみ前に生きていればいるほど、本当の「自分」が現れてきます。

神に対して正直になったが故に、自分自身に対しても正直になるにつれて、廻りの者に対しても、それだけ正直になります。(それは物事に真相を調べる時、情報を評価する時も、客観的な現実をより良く把握できるよう

になります。)無論、この祈りによって、周りの人々に対しても益々正直になりましょう。心から心へと言う本物の対人関係を結ぶ力もふえます。

本物の愛、即ち人の身になってものを考え、事情を把握し、人の要求を受け入れるという愛は、必ず本物の祈り、つまり神に対しても心を開き正直であって、自分自身に対しても正直であると言う本物の祈りと言えます。「神を知っている、と言いながら、なお兄弟を憎む者は偽りである」と書いたヨハネの言葉は、正にその通りです。

あ>幸い 主と共に歩む人

あ>幸い 生きる秘訣を心得た人

あ>幸い 報いを求めようとしない人

あ>幸い 与えるのが趣味だから与える人

あ>幸い 金銀を貧らず利得を望まない人

あ>幸い 金銀宝石の空しさを知る人

(2面へ続く)

マヘル神父	1・2面
黙想会報告	2・3面
坂本神父様より	3・4面
委員会報告	5面
レプトン会黙想会報告	6面
パウロの歩いた道	7面
お知らせ・教会学校	8面

あゝ幸い 人からの賛美栄誉のいらぬ人  
 あゝ幸い 自分に忠実な人  
 あゝ幸い 祈りの奥義を極めた人  
 あゝ幸い 高尚な理想に心を燃やす人  
 あゝ幸い 無償で仕える人

あゝ幸い 己が命を見出した人  
 あゝ幸い 主の人  
 Sebastian Temple :  
 「仕合せな人の歌」より  
 (からしだね5月号に続く)



## 水巻教会黙想会

2015年3月7、8日

### ホリスティックと黙想

坂本陽明神父 (鹿児島教区 マリア山荘霊性センター司祭)

初めにホリスティックという聞き慣れない言葉に戸惑いました。資料には、「心、体、霊を一体化し、より良い生き方を目指して生きる、訓練の方法」とありました。辞書でホリスティックを引いてみると、Holistic=全体的、全人的という意味のようです。

怒り、悲しみ、憎しみ、失望といった否定的感情が起こった時には、体を使って笑顔を、励ましの言葉、祈りの姿勢と時間を作る。自分に対しても、人に対しても「出来ない」と言わず「出来る」ことをする。こうして心と体の調和を取り戻す。「気」と「体」はつながっている。気がふさぐ時には、気が開く・流れる・気が通る工夫をしよう。医者には病を診断し処方するが、自然が治癒する。「霊」の力がやすい。霊は、聖霊である。

神は、すべてを創造されて、その存在を良しとされ、祝福された。わたしたちは、自分を神にゆだねることが出来る。何かが出来るところではなく、何も出来なくても生かされている。自分が生きるのは、自分のためではなく人のためである。

時代の変化を識別し、現実をありのまま受けとめ、出来事を意味づけて解釈する。二者択一的に善悪を判断するのではなく、寄り添い、救いの道を共に見つけようとする姿勢と態度をもつこと。教皇フランシスコは、慈しみ、ゆるし、よろこび、ありのままを受け入れることを勧めている。人と良い関わりを持つことが宣教である。

人が心の中で、何かをして人のために役立ちたいと望むのは、神の思いであって、その行動を可能にするのは神である。その人が出会う人は協力者である。1人で出来ないことも協力があれば出来る。過去に失敗の経験があったモーセは、80才の時に神に呼ばれた。協力者をえて困難な使命を果たすことが出来た。出来事の裏には霊がある。霊は助け主である。「主よ、あわれみたまえ」と祈る。

ドイツの女子修道院長で医学・薬草学の祖といわれるヒルデガルトが生活体験から勧めたこと、苦しみを和らげる体と心の養生法：7つの薬(?)がある。 1.喜びなさい 2.泣きなさい 3.寝なさい(先送りする) 4.風呂に入りなさい(温泉、摩擦、血行をよくする) 5.寄り添う人を持ちなさい(電話でも) 6.真理にふれなさい 7.祈りなさい(まかせ、覚

悟が決まる)

また、聖書を読むときは、「わたしがそうする」という立ち位置をもつこと。

この報告は1日目午前と2日目のお話しに基づくものです。ほかに沢山のエピソードと  
愉快的話がありました。

矢田公美

後日、坂本神父様から黙想会の内容を補足するものが届きましたので、引き続き掲載します。



**水巻教会の皆様、黙想会で十分に話せなかったところを補足いたします。(坂本神父)**

## 1 黙想と観想について

キリスト教の黙想(瞑想 meditation)の仕方に、二つあります。それは、黙想(meditation)と観想(contemplation)です。黙想とは、主に、神の自分に対するみ旨(使命)を識別することを目的としていますが、あるいは、何かを選択する場合の生路選定をさがすこと、と云えます。

観想は、あらゆるものを神のまなざしで見えるようになること、即ち、あらゆるものを祝福の目で見(認識し)、祝福に変えていくことを目的としています。

神は、人間を創造し(ヘブル語 bara)、そして、祝福されました(ヘブル語 berakah)。

医療の治癒も祈りも、目的は、人間が心身共に祝福された生き方をしていくところにあります。神がおられるとは、祝福があまねく世に拡がっていくことに他なりません。

生路選定、自分の使命・役割をさがしていく黙想も、その究極は、あらゆるものを肯定し、祝福していく観想の悟りに至るところにあります。

教皇さまは、祝福の心を持つことと、許しの心を持つこと、喜びの心を持つことを、常に強調されていますが、どうしたら、許しの心を持てるようになるのでしょうか？

それは、好き嫌いという感情とは別に、嫌いな人とも協力していけるという行き方・態度(スタンス)を、訓練によって、身につけることです。

- ゆるしのレッスン
- 1 心のやすらぎだけを選び、神のやすらぎだけを求めること
  - 2 争いではなく、平和を選ぶこと
  - 3 競争ではなく協力を選ぶこと
  - 4 未来を神の手にゆだねること

## 2 悔い改め・回心(メタノイア)とは

失敗しても、「新しく立ち直りたい、やり直したい」、と言え、何度でも許され、出発

する機会（チャンス）が与えられる、これがカトリックの信仰の基本です。しかし、世間には、一度或いは数回失敗した人を、許してくれない、受け容れてくれない、チャンスを与えてくれない、ということがあります。でも、そういうことはあるし、あっていいのです。にもかかわらず、どこかで必ずチャンスが与えられるということは、あるのです。チャンスが与えられた場、やり直している場で誠実に一生懸命生きていくならば、必ず道は開けていきます。それが、神さまがいる、ということです。

ピーター・ドラッカーという世界的経営学者が、経営学で用いているイノベーションという言葉も、会社（企業）の刷新・変革・革新・再創造という意味と同時に、企業に属している人間自身、本来祝福された存在であり、絶えず新しく起業・出発・新生、立ち直り、やり直していくことが出来る存在である、という意味を持っているのです。

神は、人間とこの世界を創造し、さらに、よりよい世界にするために創造を続けておられます。



ホリスティックの目指すものも、同じです。ホリスティックの云う自然治癒とは、神が創造し祝福した人間とこの世界を、祝福で満たすことです。その実現のために、神が、人間の心身の健康を保持し、人間の生命力を支える神のエネルギーである聖霊を、いつも、人間の中に働かせておられるのです。喜びと安らぎ（平和）、それは、ホリスティック（自然治癒）のもたらした実りです。

イエスさまの受難と十字架を黙想する四旬節の意味は、どこにあるのでしょうか。それは、



イエスさまの受難の意味を、よく黙想するということです。イエスさまは、回りに問題をかかえ、苦しみを抱えている人々の問題、苦しみに寄り添い、共に担おうとされたゆえに、受難に遭われ十字架にかかられたのです。この四旬節の時、私たちも、自分の身近の人の問題、苦しみに寄り添い、共に担っていくよう、神さまからの呼びかけを受けているのではないのでしょうか。

（次号へ続く）

# 委員会等報告

2015年3月分

## 3月度小教区委員会 3月15日

### 1. 先月の行事報告

- 灰の水曜日 3月5日(水)
- 黙想会 3月7日・8日
- 共同回心式 3月13日(金)

### 2. これからの活動予定

福岡教区の日

### 3. 議題

◎未納世帯へ維持費納入のお願い(担当、事務局)、手渡し(担当、地区委員)

◎地区集会報告

報告は主に①巡礼旅行行き先、②ひざまづき台の取り外し可否、③ミサ内献金集めを止め、後ろの献金箱のみにするか。④駐車場献金の扱い；これまで蓄積された分、⑤「新規・営繕費」開始。

**芦屋** ①熊本(手取、健軍)、②移動させる分だけ外す、③従来どおり、「④駐車場献金廃止、⑤営繕献金に変える。」；

**梅の木** ①山口ザビエル聖堂、その他は、芦屋と同じ；

**海老津** ①外浜地区、②ゆっくり決める、司教にも教示。③従来どおり「④駐車場献金廃止、⑤営繕献金を新設。」；

**折尾** ②そのまま、③従来どおり、④駐車場蓄積は営繕に廻してよい；

**赤間** 前回報告済だが、巡礼候補追加①前回の場所に加え、津和野；

**高須** ②前2,3列を外す。④廃止⑤営繕献金新設一世帯、月500円。10年計画

**中間** ②2階のみ外す、③後ろに箱を置く。

④駐車場献金廃止 ⑤複数の意見、アンケートを取る(詳細後記)；

**吉田** ①日帰り、②その

まま、③そのまま、④駐車献金 今までどおり、⑤積極的に集める

◎その他の意見と提案

**赤間** 維持費3%とは分かりづらく、維持費の目安の金額を示してほしい；会長「書いてくれ、書かないでくれ」と両論ある。

**中間** 信徒名簿を発行してほしい。原則、全員分を全員に。； 複数地区委員・賛成＝「名簿の悪用」はあり得ない。・地区の中にも色々な意見があるかもしれないが。

<駐車場献金の扱い>

**中間** 駐車場献金の扱い及び新・営繕基金、名簿についてアンケートを取って頂きたい。

### 複数地区委員

・駐車場献金者の利用者集会を開くべきだ。

・営繕基金への移管に応じるか、返金を求めるか、当人に聞くという考え方あり。

・事務局が原案を示すべきだ。慎重を期すなら、アンケートも取った方がよい。

・この小教区委員会で方針を決めるべきだ。

・駐車場購買がなくなったことは、至急説明すべきである。

委員長 利用者集会をするにも、誰が支払者が分からない。；地区委員 集会への参加の仕方、誰が参加するかには問題はない。

◎典礼委員会・ミサ中の詩句の統一(国とカと栄光は限りなくあなたのもの)。・朗読輪番表を小教区委員会で配布。

◎小グループ代表者の集まりを開く。

## レプトン会1日黙想会、指導、ベリオン神父

概要は既に報告されましたが、このテーマは教皇フランシスコ「出向いて行く」。午前、午後とあった中、午前の導入部に限って、詳しくお伝えします。

**<導入1>**パウロ6世の福音宣教(14番):『神の国の良い知らせを宣べなければならぬ』と言われたイエスのみ言葉を教会は意識している。」

これに即して次の話が始まりました。どうして教会は存在しているのか?それは、**イエスがおられて、私達が呼び集められるから。教会はエクレシア。エクレシアとは、呼び集められたもの。私達のおかげで、教会ができたのではない。**

「出てゆけ」という言葉が、聖書で初めて登場して来るのは、出エジプト紀。全イスラエル共同体に対してです。この共同体がエクレシアと呼ばれた。これは神に呼び集められたもの。

呼び集められたのは何のためか?それは派遣のため、遣わされるため。弟子たちは、ガリラヤに集まっていた。全世界に行かせるために、イエスが訪れた。

ペテロは、逮捕された時、言いました:「私は聞いたこと、イエスを見たことを伝える。あなた達が、駄目だと言っても、伝えることを止めるわけにはいかない。」

パウロ6世「福音宣教(14番)」は伝えていきます:『**神の国のよい知らせを宣べなければならぬ**』と言われたイエスの言葉を教会は意識している。使徒パウロは述べています。「私が福音を述べ伝えなければ、災いだ。」イエスの福音を伝えようとしないなら、キリストの教会ではありません。イエスの名をただ単に借りた宗教団体です。いくら日曜に祈っても、イエスを何らかの形で証ししようとし

ないと、活動がないと、そのようなことになります。その福音を伝える使命は、誰に与えられているのでしょうか。それは洗礼を受けたすべての人に、与えられているのです。福音を伝えることは、司祭、専門家だけの仕事と思われてきましたが、それは違います。

長らく「信仰を守った」という言い方がなされてきました。これでは、イエスキリストの信仰に閉じこもり、ここに加わる人は現れなくなります。

**私を見ている人は、イエスにまで、辿り着くことができるだろうか?**(この様に考えるべきです。)私達は何を目指すのでしょうか?「イエス・キリストをすべての人に差し出すこと」です。

**<導入2>**すべての人は、イエス・キリストの福音を知る権利があります。ただ、自分が福音の喜びを味わった事がないと、伝える事ができない。信仰が素晴らしいと思えば、実感したことを他の人に伝えられます。

教皇フランシスコが教皇になった直後の、インタビュー:「司祭になって44年、この間、私がキリストの司祭として目指したことは間違っていなかった。キリストが望んでいたことだった。」「私は教会を、戦闘の後ろの野戦病院と考える。兵士にコレステロール値を尋ねても仕方がない。彼の傷を癒やすのが先決だ。」苦しんでいる人に「日曜にミサに来い」と言い、「来ないと罪を犯しているよ」と言うなら、これは馬鹿だ。何の理由で悩んでいるかが問題です。(終)



## パウロの歩いた道 No.10

アブラハムは神に言われて、その頃の大都会メソポタミアから家族を連れて出発します。「行きなさい」と神に言われた言葉だけで、あてのない旅に出たことに驚かされます。四旬節第二週の主日のミサで読まれた旧約聖書の箇所では、アブラハムがイサクを神にささげようとします。「アブラハムの神に対する従順さは信仰の原点です」とある神父が説教で話されたことを思い出します。自分は神の言葉、イエス様の言葉に従順だろうかと反省させられるのです。

パウロがキリストの言葉を伝えようと想像を絶するほどの長い旅をしたことを学ばば学ぶほど、自分は何をしてきたのだろうといつも反省します。

長い間、様々な活動をする機会に恵まれてきました。へこたれそうになったこともありましたが、今は年を取りましたので周りの人が無理をしないで下さいとかばってくれます。しかし、パウロが受けた困難に比べれば、私の活動などたいしたことではありません。

パウロは各地に出かけてキリストの福音を伝えて行ったのですが、行った先でことごとくユダヤ人に妨害されます。この時代に国を出て各地に住んでいた、ディアスポラと呼ばれていたユダヤ人は、信仰がユダヤ人としての大切なアイデンティティーであったのです。

純粋な信仰を持った旧約の民からすると、パウロが伝えるキリストの教えは、今までの自分たちの信仰を全て否定するものだったのでしょ。

エルサレム大学に留学して聖書を勉強したという友人から聞いた話ですが、「世界中で一番熱心なユダヤ教徒は、アメリカのニューヨークにいるユダヤ人だ」と言うのです。「祖国から遠い所に住んでいる人ほど信仰を厳格に守りたい」と言うのです。

テルアビブ空港の到着口で、突然どこから来たのか、黒服で挑発のユダヤ人がそろそろ出てきた時は、異様な雰囲気となったのを覚えています。

フィリポスで考え方が違う同胞に追われ、逃れて南に行った町のテサロニケでも、また同胞に追い出されたパウロは、弟子たちの手配でアテネに向けて船で脱出しました。

パウロが歩かなかった旅程の途中に、後世にできたギリシャ正教の聖地があります。みなさんも聞いたことがあるかも知れませんが、有名なメテオラの修道院群です。以前信販会社のコマーシャルで岩の上の修道院の風景が採用されていたのを覚えていますか。そこは細長い岩峰のある地帯で、たくさんの岩峰の上に、最盛期は24の修道院があったそうです。今は8つの修道院が残っています。

全ての修道院が岩をよじ登らないと入れなかったのですが、今はいくつかの修道院へ入る道や橋がかかっている中を見ることができそうですが、このような高い岩山の上に全ての物資を持ちあげて修道院を作ったことや、毎日滑車にぶら下がって麓の畑で働いていたなどの話は、実際にその滑車を見るまで信用できませんでした。目もくらむような断崖絶壁の岩の上の修道院に入ると、これを作った修道士たちの信仰の深さに胸を打たれます。

4月



# おしらせ

## ★聖週間のお知らせ★

2日(木)(聖木曜日) 19時30分より  
 3日(金)(聖金曜日) 19時30分より  
 4日(土)(復活徹夜祭)19時30分より  
 5日(日)(復活の主日)10時より  
 ミサ後、茶話会があります。

## ★小グループの集まり★

日時は決定していませんが、近いうちに小グループの集まりを行います。日曜日のお知らせをご覧ください。

## ★男子パウロ会がきます★

4月19日(日) ミサ後  
 男子パウロ会の方が来られて、書籍や信心用具の販売をします



## 【婦天】安らかに！

2月18日

◇田口 <sup>てるお</sup> 昭雄さん (梅ノ木地区)

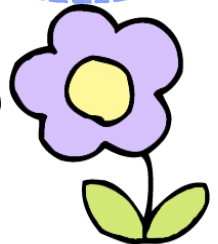


## 教会学校のページ



2月22日

出席者：井上美砂さん・野田明日美さん・平田綾香さん  
 四旬節に入ったので、四旬節の意味を深く理解するために、イエス様が荒野で40日間、断食したことに由来することをビデオで見て学びました。  
 サタンから誘惑を退けたイエス様の意味を実行して生活していきましょう。  
 最後に、マタイ4章1～11をみんなで読みました。



3月8日

出席者：井上美砂さん・野田明日美さん・山田蓮さん  
 次の内容のビデオを見ました。

「イエス様の逮捕、ペトロが主を否むシーン、ピラトの審問、  
 ゴルゴダの丘」

聖書ヨハネ18章16～18、25、26～27を読み、  
 ペトロがイエス様を否む場面を再読しました。  
 「ごらんよ空の鳥」をみんなで歌いました。

